



2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月9日

上場会社名 トラストホールディングス株式会社 上場取引所 東 福
コード番号 3286 URL <https://www.trust-hd.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 修
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 佐々木 貴史 TEL 092-437-8944
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第3四半期の連結業績（2024年7月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	8,878	△5.7	216	△48.8	147	△60.0	56	△73.2
2024年6月期第3四半期	9,412	△0.1	422	14.9	368	20.1	208	△7.3

(注) 包括利益 2025年6月期第3四半期 54百万円 (△74.3%) 2024年6月期第3四半期 211百万円 (△5.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	14.68	—
2024年6月期第3四半期	55.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第3四半期	8,506	926	10.9
2024年6月期	8,837	915	10.4

(参考) 自己資本 2025年6月期第3四半期 926百万円 2024年6月期 915百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2025年6月期	—	8.00	—	—	—
2025年6月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	2.2	640	△5.3	550	△9.4	350	3.4	92.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年6月期3Q	5,204,500株	2024年6月期	5,204,500株
② 期末自己株式数	2025年6月期3Q	1,372,594株	2024年6月期	1,404,978株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年6月期3Q	3,816,272株	2024年6月期3Q	3,771,081株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、緩やかな回復基調で推移いたしましたが、国内における物価上昇や欧米における高い金利水準の継続、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動など、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、駐車場事業の収益力向上、不動産事業における新築マンションの販売強化及び駐車場等小口化事業における「トラストパートナーズ」の販売拡大の他、各種事業の収益改善等に注力してまいりました。

以上の結果、売上高8,878,919千円（前年同期比5.7%減）、営業利益216,117千円（同48.8%減）、経常利益147,426千円（同60.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は56,054千円（同73.2%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。なお、前連結会計年度末より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

①駐車場事業

駐車場事業につきましては、経済活動の回復に伴い駐車場利用が活発に推移する中、新規駐車場の開発に注力いたしました。また、新紙幣対応機器への入れ替え、利便性向上を目的とした駐車場機器のリニューアル等を積極的に行いました。これにより前年同期比では増収となりましたが、関連する費用により減益となりました。

以上の結果、売上高5,354,041千円（前年同期比4.6%増）、営業利益220,032千円（同29.5%減）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の駐車場数は902ヶ所（前年同期より12ヶ所増、前連結会計年度末より2ヶ所減）、車室数は29,357車室（前年同期より1,330車室減、前連結会計年度末より1,834車室減）となっております。

②不動産事業

不動産事業につきましては、当第3四半期連結累計期間において、新築マンション「トラストレジデンス西鉄久留米駅（福岡県久留米市、44戸）」が竣工し、既竣工物件である「トラスト福岡空港駅レジデンス（福岡県糟屋郡志免町）」の販売と合わせて55戸の引渡しを実施いたしました。また、第4四半期連結会計期間に竣工、引渡しを開始する新築マンション2棟、「トラストレジデンス伊万里河畔（佐賀県伊万里市、44戸、2025年4月竣工、引渡開始）」及び「トラスト博多南駅レジデンス（福岡市南区、23戸、2025年5月竣工、引渡開始）」の販売に注力いたしました。

以上の結果、売上高1,957,218千円（前年同期比27.1%減）、営業利益6,853千円（同92.0%減）となりました。

③駐車場等小口化事業

不動産特定共同事業法に基づく駐車場小口化商品「トラストパートナーズ」の販売を中心として行う駐車場等小口化事業につきましては、当第3四半期連結累計期間において、「トラストパートナーズ第34号（大分県大分市及び長崎県長崎市、販売総額175,000千円）」及び「トラストパートナーズ第35号（福岡県久留米市及び高知県高知市、販売総額71,500千円）」を組成、完売いたしました。また、第4四半期連結会計期間に販売、組成を予定している駐車場小口化商品について、商品化の準備に注力いたしました。

以上の結果、売上高303,273千円（前年同期比25.1%減）、営業利益13,105千円（同41.9%減）となりました。

④メディカルサービス事業

メディカルサービス事業につきましては、「介護老人保健施設みやこ」、「福岡信和病院」及び「嘉穂信和病院」からの不動産賃貸収入等により収益は安定しておりますが、医療法人への営業貸付金について貸倒引当金繰入額を計上したことにより、営業損失となりました。

以上の結果、売上高208,815千円（前年同期比7.4%増）、営業損失35,162千円（前年同期は34,961千円の営業損失）となりました。

⑤RV事業

RV事業につきましては、キャンピングカーの製造、販売及び修理・リノベーション等が順調に推移し、前年同期比では増収となりました。一方で、原材料価格の高騰分を吸収するには至らず、減益となりました。

以上の結果、売上高300,002千円（前年同期比14.7%増）、営業利益1,978千円（同88.1%減）となりました。

⑥その他

その他につきましては、温浴施設「那珂川清滝（福岡県那珂川市）」、「和楽の湯下関せいりゅう（山口県下関市）」の来館者数の更なる増加、警備契約獲得等に努めてまいりました。

以上の結果、売上高755,567千円（前年同期比1.3%増）、営業損失2,734千円（前年同期は16,479千円の営業損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して489,780千円減少し、5,455,919千円となりました。主な増加要因は、不動産事業における仕掛販売用不動産の増加852,530千円等であります。一方、主な減少要因は、現金及び預金の減少1,290,128千円、販売用不動産の減少340,007千円等であります。固定資産は前連結会計年度末と比較して158,417千円増加し、3,050,533千円となりました。主な増加要因は、建物及び構築物の増加97,153千円等によるものであります。

以上の結果、総資産は8,506,453千円となり、前連結会計年度末に比べ331,362千円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して669,054千円減少し、4,146,656千円となりました。主な増加要因は、1年内償還予定の社債の増加300,000千円、短期借入金の増加154,000千円等であります。一方、主な減少要因は、買掛金の減少927,888千円、未払法人税等の減少130,750千円等であります。固定負債は、前連結会計年度末と比較して325,939千円増加し、3,432,888千円となりました。主な増加要因は、長期借入金の増加488,275千円、リース債務の増加76,957千円、資産除去債務の増加55,493千円等であります。一方、主な減少要因は、社債の減少300,000千円等であります。

以上の結果、負債合計は7,579,545千円となり、前連結会計年度末に比べ343,114千円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して11,752千円増加し、926,908千円となりました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加56,054千円、自己株式処分による自己株式の減少12,428千円等であります。一方、主な減少要因は、剰余金の配当65,841千円等であります。

以上の結果、自己資本比率は10.9%（前連結会計年度末は10.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2024年8月9日に公表いたしました「2024年6月期 決算短信」における連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,811,661	1,521,533
受取手形及び売掛金	241,648	275,494
販売用不動産	410,357	70,349
仕掛販売用不動産	1,461,482	2,314,012
商品及び製品	53,594	47,187
仕掛品	23,130	86,842
原材料及び貯蔵品	125,935	101,637
その他	1,199,482	1,449,283
貸倒引当金	△381,592	△410,422
流動資産合計	5,945,700	5,455,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	892,360	989,513
土地	738,302	738,302
その他（純額）	470,283	554,632
有形固定資産合計	2,100,946	2,282,449
無形固定資産	33,500	29,083
投資その他の資産	757,668	739,000
固定資産合計	2,892,115	3,050,533
資産合計	8,837,815	8,506,453

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,233,201	305,313
短期借入金	1,566,000	1,720,000
1年内償還予定の社債	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	945,347	905,702
リース債務	109,931	128,569
未払法人税等	151,005	20,255
資産除去債務	9,622	5,772
契約負債	187,399	248,364
賞与引当金	—	44,435
その他	613,202	468,244
流動負債合計	4,815,710	4,146,656
固定負債		
社債	400,000	100,000
長期借入金	1,943,789	2,432,064
リース債務	205,959	282,916
退職給付に係る負債	109,688	117,335
株式給付引当金	26,967	28,203
資産除去債務	159,115	214,608
その他	261,429	257,759
固定負債合計	3,106,948	3,432,888
負債合計	7,922,659	7,579,545
純資産の部		
株主資本		
資本金	422,996	422,996
資本剰余金	210,000	220,914
利益剰余金	816,673	806,887
自己株式	△533,844	△521,415
株主資本合計	915,826	929,382
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△670	△2,474
その他の包括利益累計額合計	△670	△2,474
純資産合計	915,155	926,908
負債純資産合計	8,837,815	8,506,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	9,412,832	8,878,919
売上原価	7,507,536	7,127,697
売上総利益	1,905,295	1,751,222
販売費及び一般管理費	1,482,876	1,535,104
営業利益	422,419	216,117
営業外収益		
受取利息	1,260	2,131
受取配当金	1,771	1,382
投資有価証券売却益	—	1,512
その他	24,230	27,885
営業外収益合計	27,262	32,911
営業外費用		
支払利息	66,585	69,540
その他	14,824	32,060
営業外費用合計	81,409	101,601
経常利益	368,272	147,426
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	3,631	—
特別利益合計	3,631	—
特別損失		
減損損失	19,131	805
特別損失合計	19,131	805
税金等調整前四半期純利益	352,772	146,621
法人税、住民税及び事業税	97,142	55,636
法人税等調整額	46,718	34,930
法人税等合計	143,861	90,566
四半期純利益	208,910	56,054
親会社株主に帰属する四半期純利益	208,910	56,054

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	208,910	56,054
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,438	△1,803
その他の包括利益合計	2,438	△1,803
四半期包括利益	211,349	54,251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	211,349	54,251

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	駐車場事業	不動産事業	駐車場等 小口化事業	メディカル サービス事業	RV事業	計
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,119,902	2,680,679	39,853	23,104	261,498	8,125,037
その他の収益 (注) 4	—	5,517	365,010	171,386	—	541,913
外部顧客への売上高	5,119,902	2,686,196	404,863	194,490	261,498	8,666,951
セグメント間の内部売上高又は振替高	489	18,313	23,858	291	53	43,005
計	5,120,392	2,704,510	428,721	194,781	261,551	8,709,957
セグメント利益又は損失(△)	311,886	85,773	22,549	△34,961	16,638	401,886

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3
売上高				
顧客との契約から生じる収益	745,925	8,870,963	△45	8,870,918
その他の収益 (注) 4	—	541,913	—	541,913
外部顧客への売上高	745,925	9,412,877	△45	9,412,832
セグメント間の内部売上高又は振替高	91,874	134,880	△134,880	—
計	837,799	9,547,757	△134,925	9,412,832
セグメント利益又は損失(△)	△16,479	385,407	37,011	422,419

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業、ウォーター事業、警備事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去390,963千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△353,294千円及び棚卸資産の調整額△656千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等及び「特別目的会社を活用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針」(会計制度委員会報告第15号)の対象となる不動産(不動産信託受益権を含む。)の譲渡等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年7月1日 至 2025年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	駐車場事業	不動産事業	駐車場等 小口化事業	メディカル サービス事業	R V事業	計
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,354,041	1,952,871	44,754	42,652	300,002	7,694,321
その他の収益 (注) 4	—	4,347	258,518	166,163	—	429,030
外部顧客への売上高	5,354,041	1,957,218	303,273	208,815	300,002	8,123,351
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,543	17,370	18,298	—	—	37,211
計	5,355,584	1,974,588	321,571	208,815	300,002	8,160,563
セグメント利益又は 損失(△)	220,032	6,853	13,105	△35,162	1,978	206,806

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
顧客との契約から生じる収益	755,567	8,449,888	—	8,449,888
その他の収益 (注) 4	—	429,030	—	429,030
外部顧客への 売上高	755,567	8,878,919	—	8,878,919
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	79,084	116,296	△116,296	—
計	834,652	8,995,215	△116,296	8,878,919
セグメント利益又は 損失(△)	△2,734	204,072	12,045	216,117

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業、ウォーター事業、警備事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去388,536千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△375,376千円及び棚卸資産の調整額△1,114千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等及び「特別目的会社を活用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針」(会計制度委員会報告第15号)の対象となる不動産(不動産信託受益権を含む。)の譲渡等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

前連結会計年度末において、「ウォーター事業」の量的な重要性が低下したことに伴い報告セグメントから除外し、「その他」に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	244,378千円	280,339千円
のれんの償却額	1,099	—

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。